

テーマ	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市マ ス	都市づくり ビジョン	部門別の地 域要素	その他	課題
テーマA 国際化	1	多摩川駅周辺の機能強化（交通環境の状況変化を把握した必要に応じた安全対策、公共施設の移転など）や、地域資源の発掘、既存公園緑地等の活用を進める			○		
	2	洗足池駅周辺と公園との一体的なまちづくりに取り組み、文化施設や水と緑の自然環境等の地域資源を活用したイベントなどにより地域の魅力を発信する		○		区域マ ス 案	
	3	多摩川の利活用に関する広域的な連携の検討					都市づくりビ ジョン
	4	多摩川、洗足池、小池などの豊かな自然環境や、特徴的な歴史文化資源の観光資源としての可能性を高めるため、交通事業者との協力体制のもとで、テーマ性のある地域巡りやサイン整備など、回遊性の向上を検討する	○				都市づくりビ ジョン
	5	大岡山駅周辺への都市基盤施設の整備に併せて地域の商店街などの活性化を図り、東京工業大学などとの連携による産学官民まちづくりを推進する		○			
	6	桜のプロムナード(洗足流れなど)等の整備・利活用により、馬込・池上・洗足池の連携を強化する		○			
テーマB 地域力	7	大岡山駅、雪が谷大塚駅周辺は、駅周辺への機能集約による駅利用者の快適性・利便性の向上と、安心して買物ができる商店街の発展を図り、生活拠点の育成を推進する	○	○		区域マ ス 案	
	8	田園調布駅、御嶽山駅などの駅周辺は、市街地に隣接する崖線のみどりと調和した良好な住空間と景観が維持保全されるとともに、周辺環境と調和した商店街の再整備など、地区に密着した生活拠点の形成を図る	○			区域マ ス 案	
	9	多摩川駅周辺の公共施設の適正配置によるまちづくりの進展を図る（田園調布せせらぎ公園など）		○			
	10	多摩川駅周辺では、大規模な公園や多摩川沿いのオープンスペースと地域の文化施設の利活用が進められ、豊かなみどりに囲まれた住み心地のよい生活拠点の形成をめざす				区域マ ス 案	
	11	田園調布・多摩川駅周辺では、新空港線の整備により羽田空港へのアクセス性の強化や区内の東西方向の公共交通ネットワークの向上を捉え、市街地と一体となった交流拠点の形成を図る	○			区域マ ス 案	
	12	道路や街並みが計画的に造られた、緑豊かな低層住宅地の優れた住環境を維持保全するとともに、地区住民の意向を尊重した住環境を確保するため、建物や敷地、敷地内緑化などのルールづくり等の地区まちづくり活動を支援し、良好な景観に配慮した街並みづくりを進める	○	○			

テーマ	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市マ ス	都市づくり ビジョン	部門別の地 域要素	その他	課題
	13	仲池上から上池台にかけての住宅と工場が混在する市街地は、建物の更新時にあわせて、工場と住宅との相互の敷地利用の工夫や緑化などにより、住工が共存調和した市街地の形成を図る	○				
テーマC 安心安全	14	第二京浜国道、中原街道、環状7号線、環状8号線の沿道の不燃化耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保する	○				
	15	多摩川沿いは、地震や洪水に対する安全性の向上を図るために、周辺市街地の整備とあわせた総合的な治水対策を推進する	○				
	16	凶害に強いまちをめざして、多摩川周辺市街地の雨水貯留施設や浸透施設整備などの総合的な治水対策を推進する	○				
	17	斜面地にある崖地の実態を踏まえ、助成制度の活用などにより、安全対策を推進する	○				
テーマD 環境	18	堤防沿いの並木の植栽などによる、河川空間を活かした水と緑のネットワークづくりを推進し、潤いと憩いの場の形成を図る	○				
	19	国の多摩川河川環境管理計画に基づき、治水対策を最優先として多摩川の自然を損なわないように配慮しながら、区民にふれあいの場を提供する貴重なオープンスペースとして河川敷を活用する	○				
	20	国分寺崖線や台地を縁取る崖線、洗足池公園、小池公園、田園調布せせらぎ公園、多摩川台公園などの貴重な緑環境を、子ども達が自然とふれあい、学習する場として積極的に保全・育成を図る	○				
	21	台地部の南側を縁取る斜面地周辺は、残された緑地等の保全を図りつつ、周辺と調和した良好な景観づくりを進める	○				
	22	散在する生産緑地地区や、残された農地など貴重な緑地機能の保全と活用方策を検討する	○				
	23	呑川などの河川や旧六郷用水などのかつての水路沿いは、散策路等の整備を促進し、市街地の中で自然を感じられる潤いと憩いの空間としての活用に努める	○	○			
	24	大岡山駅周辺では、桜のプロムナードと環状第7号線（環七通り）から東京工業大学に至る快適な散策路による回遊性の向上を図る		○			
25	低層住宅地は、再生可能エネルギーの活用や緑化の推進により、環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図る	○					

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマA 国際化	1	池上本門寺周辺の歴史的建造物が集積する地域は、住民等との協力により、歴史を感じられる街並みづくりを進める	○		○	池上GD	
	2	池上本門寺の魅力を活かした景観整備や、歴史文化の観光資源と公共施設や商店街などのネットワークを強化し、地域の回遊性向上とにぎわいの創出を図り、区民や来街者をひきつける観光利用を促進する		○			
	3	来訪者の利用促進に向け、大型交通車両等の待機方策等の検討に取り組む		○		池上GD	
	4	呑川緑道の整備・利活用による、地域資源を結ぶ一体的な散策ルートを形成する		○			
	5	桜のプロムナード(洗足流れなど)等の整備・利活用により、馬込・池上・洗足池の連携を強化する		○			
	6	池上駅周辺では、緑豊かな公園や歴史資源と連携したイベントなどにより地域の魅力を発信する		○			
	7	観光ネットワークのハブとなる西馬込駅周辺整備の検討		○			
	8	池上図書館跡地について、まちづくりの進展や周辺の公共施設の再編など、多様な活用方策を検討する				池上GD	
テーマB 地域力	9	池上駅周辺は、歴史的建造物が集積した街並みを活かした都市基盤の整備を進め、安全で快適な歩行者空間を形成し生活拠点としての魅力を向上させる	○			区域マス 池上GD	
	10	池上駅周辺では、都市計画道路補助43号線の整備と併せて駅前広場や駅周辺道路などの交通基盤の整備を進		○			
	11	緑豊かな低層住宅地は、良好な景観や優れた住環境を維持・保全するため、地区住民の意向を尊重した住環境づくりを進める	○				
	12	池上本門寺総門から池上通りまでつながる参道においては、門前町としての情緒を活かした道路の設えを検討するなどの景観整備を行う				池上GD	
	13	池上駅の南側出入口の新設に伴い、地域住民、関係事業者、商店街等と連携して駅南側の活性化を図る				池上GD	
	14	池上駅周辺地区では、事業者、地域住民等と連携して、空き家空き店舗等を活用したリノベーション事業を推進する				池上GD	
	15	池上駅周辺の都市計画道路である補助28号線や補助43号線については、整備に向けて関係機関と協議を進めていくとともに、歩行空間のバリアフリー化、無電柱化、踏切道の改善を図るなど安全で快適に利用できる道路空間の整備を進める				池上GD	

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
	16	池上駅交差点については、補助43号線の整備と併せて、歩行者滞留空間の確保など安全で渡りやすくなるような改善を図り、池上の観光資源である池上本門寺や池上梅園などへの快適なアクセスの構築を目指す				池上GD	
テーマC 安心安全	17	第二京浜国道、中原街道、環状7号線、環状8号線の沿道の不燃化耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保する	○				
	18	水害に強いまちをめざして、内川流域・呑川流域の雨水貯留施設や浸透施設の整備などの総合的な治水対策を推進する	○				
	19	斜面地にある崖地の実態を踏まえ、助成制度の活用などにより、安全対策を推進する	○				
テーマD 環境	20	呑川緑道の整備を促進し、区民が呑川に親しめる、潤いのある水と緑のネットワークの形成を図る	○				
	21	散在する生産緑地地区や、残された農地など貴重な緑地機能の保全と活用方策を検討する	○				
	22	台地部の南側を縁取る斜面地周辺は、残された緑地等の保全を図りつつ、周辺と調和した良好な景観づくりを進める	○				
	23	呑川などの河川や旧六郷用水などのかつての水路沿いは、緑道整備などにより、市街地の中で自然を感じられる潤いと憩いの空間としての活用を努める	○	○			
	24	本門寺公園や佐伯山緑地等の自然、呑川等の水辺空間の保全活用を図りながら、歴史文化・自然と共生する都市づくりを進めるとともに、公園緑地については、公民連携によるパークマネジメントの導入など新たな取り組みも視野に入れた、さらなる利用促進に努める				池上GD	
25	低層住宅地は、再生可能エネルギーの活用や緑化の推進により、環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図る	○					

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマA 国際化	1	大森駅周辺では、中心拠点として商業、産業、居住機能の集積を図り、交通ターミナル機能の強化、充実させるとともにユニバーサルデザインの視点での空間づくりを推進する	○			区域マス 案	
	2	大森北一丁目の区有地に整備された大森複合施設ビルは、にぎわいと交流の結節点として活用する	○				
	3	大森駅西口駅前周辺では、周辺の住環境に配慮しながら、都市基盤整備と連携した複合的土地利用と、土地の高度利用によるゆとりある駅前空間づくりを進め、利便性の高い東西自由通路の確保をめざす	○	○		大森GD	
	4	駅周辺の再開発などに合わせた、質の高い生活を支える居住機能や生活支援機能、産業ビジネス機能を強化する		○			
	5	臨海部や羽田空港への玄関口となる大森駅東口は、駅前広場の機能更新を推進し、内陸部と空港臨海部を結ぶ交通の利便性向上を図るために、バスサービスの充実や新しい公共交通システムの導入を促進するなど、東西方向等の公共交通ネットワークの充実をめざす	○	○	○	大森GD	
	6	交通混雑の激しい補助28号線（池上通り）やJR線の東西を結ぶ道路の整備を促進し、円滑な交通を確保するとともに、大森駅周辺の一体性をもった道路ネットワークの形成を図る	○			区域マス 案	
	7	国際都市おたを意識したサイン整備を進め、地域の観光資源が持つ集客力を地元商店街への誘客へつなげるとともに、地域固有の歴史や文化を活かした観光資源の活用を図り、地域の魅力を区内外へ発信する	○			大森GD	
	8	『新スポーツ健康ゾーン』におけるスポーツ関連施設や宿泊施設等の再整備及び管理運営を検討する		○			
	9	大森駅周辺地区では、商店の経営向上や人材の育成、空き店舗の活用に取り組み、居住者や来訪者のニーズに応える元気な商店街づくりを進める				大森GD	
	10	臨海部との交通結節点としての役割を担う平和島駅周辺は、ユニバーサルデザインの視点で安心して買物ができる商業地の形成等を図るとともに、歴史的資産（旧東海道）を活かした生活拠点の形成をめざす	○			区域マス 案	
	11	自転車等駐車場や自転車走行環境の整備を進め、自転車利用者のルールづくりやマナー向上への呼びかけを行い、子どもや高齢者、障がい者なども安心して快適に移動できる環境づくりを目指す	○		○	大森GD	
	12	教育文化を中心とした公共施設の複合化を図る		○			
	13	大森駅周辺は、商業業務機能、交通ターミナル機能、及び文化の拠点として発展を図るとともに、地域の暮らしに密着し、馬込文士村等文化的歴史的な要素と緑に恵まれた起伏豊かな山王地区の環境を活かした拠点づくりを行う			○		

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマB 地域力	14	既存の路線バスの接続性の向上や、交通結節点の機能充実を図るために、大森駅周辺のまちづくりにあわせた駅前広場の再整備を進める	○				
	15	補助第28号線（池上通り）の拡幅整備に合わせた、大森駅西口の公共交通や歩行者空間の拡充及び交通結節機能の強化		○			
	16	廻和島駅の交通結節機能の強化を図り、駅周辺地区においては歩行者環境や自転車走行環境の整備を図る		○			
	17	街区ごとに住宅や工場のまとまりが見られる大森西周辺などの地区では、産業関連と生活関連の交通に配慮	○				
	18	地域固有の歴史文化資源を活かした景観形成をめざし、坂階段など変化のある地形を活かした都市づくりを推進する	○	○			
	19	大森地域は、かつて海が地域の暮らしと密接だった歴史的背景を踏まえ、運河周辺での海と文化を活かした景観づくりを検討する	○				
	20	大森駅周辺を中心に、安全で快適な歩行者空間を確保することで、だれもが利用しやすい歩いて回遊できる都市づくりを進める					大森GD
	21	個性のある商店づくりや商店街同士が連携したイベントの実施、医療機関と連携した健康相談や宅配など住民の健康や暮らしを支える身近なサービスの充実を図る					大森GD
テーマC 安心安全	22	環状7号線、第一京浜国道、産業道路の沿道の不燃化耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保する	○				
	23	東京都の防災都市づくり推進計画で重点整備地域に指定された大森中一丁目～三丁目地区は、都市基盤整備とあわせた防災活動拠点の整備や避難路の確保などを推進し、木造密集市街地の防災性の向上を図るとともに、住環境と防災面に配慮して、近隣と調和した土地の高度利用の促進により緑と潤いのある都市づくりを推進する	○				
	24	凶害に強いまちをめざして、内川周辺の浸水対策、雨水貯留施設や浸透施設の整備などの総合的な治水対策を推進する	○				
	25	斜面地にある崖地の実態を踏まえ、助成制度の活用などにより、安全対策を推進する	○				
	26	大森駅周辺の都市機能の再更新にあわせて、地域冷暖房等の面的利用を図るとともに、未利用エネルギー再生可能エネルギーを活用することにより、環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図る	○				
	27	都市開発や大規模建築物の建設において、環境負荷の低減などへの配慮や、環境性能に優れた建築物への誘導を図る	○				

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマD 環境	28	☑森貝塚や馬込文士村などの歴史文化資源を保全し、これらの地域資源と公園や駅などの主要な施設とを結ぶ散策路の整備など、地域の特徴を活かしたまちづくりを進める	○				
	29	☑川は、河川的环境保全と活用のあり方に十分留意しながら、貴重な水と緑のふれあいの場として活用する	○				
	30	☑どもたちが自然とふれあい、学習する場として、平和の森公園や大森ふるさとの浜辺公園、佐伯山緑地などの貴重な緑環境の保全を積極的に図る	○				
	31	☑川沿いの桜のプロムナードや呑川緑道の整備とともに、自然環境を活かした海辺の散策路の整備を推進し、ほかの水辺や公園などと結ぶ潤いある水と緑のネットワークの形成を図る	○				
	32	☑王地区に残された貴重な緑は、地域の意向を尊重しつつ、良好な住宅地にふさわしい緑の保全を図る	○				
	33	地域の自主的なルールづくりや地域住民による緑化や美化活動のほか、省エネ設備の利用など低炭素のまちづくりへの取組みにより、いつまでも住み続けたいような、誇りの持てる住宅地の形成を目指す				大森GD	

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマA 国際化	1	<input checked="" type="checkbox"/> R・東急蒲田駅周辺及び京急蒲田駅周辺は、羽田空港と隣接する立地をいかし、にぎわいのあふれる多文化都市として、国内外の来街者でにぎわう活気あふれる拠点の形成をめざす。また、空港利用者など様々な人を呼び込むために、蒲田らしい観光資源の発掘や情報発信などを進め、多言語化の充実や宿泊機能の誘導などを図り、多文化が交流するまちをめざす	○			区域マス 案 蒲田GD (骨子)	
	2	JR・東急蒲田駅及び京急蒲田駅周辺は、にぎわいと活力を感じながら快適に過ごせる、清潔で美しい街並みづくりを推進し、多文化都市として誰もが気持ちよく過ごせる環境を整備するため、清潔感を維持するための意識向上の促進、景観の一定程度の誘導により、多くの人に受け入れられるまちをめざす	○			蒲田GD (骨子)	
	3	<input checked="" type="checkbox"/> 空港線の整備などにより、羽田空港へのアクセス性の強化が推進されることを見据え、駅とまちの一体的な整備や市街地の更新、産業業務、宿泊機能が強化され、商業等が集積した交流の拠点の形成をめざす	○	○		区域マス 案	
	4	<input checked="" type="checkbox"/> 田空港等を利用する国内外の人々を受入れる機能を強化する		○			
	5	<input checked="" type="checkbox"/> 『駅まちマネジメント』により、行政や事業者などが地域の課題を共有し、課題解決に向けた方策を検討する		○			
	6	<input checked="" type="checkbox"/> 地域特性を活かし、飲食、物販、観光や業務などが集積し、多様な表情を持つ利便性の高いまちを構築する		○			
	7	JR・東急蒲田駅周辺及び京急蒲田駅周辺の一体性を確保し回遊性の向上を図り、商店街等を活用した快適性の向上を図る	○		○		
	8	商業環境の整備などにより多様な人々のニーズに応じた商業の集積を促進するとともに、蒲田らしさを活かしたイベントの開催や情報発信に取り組み多様な人々を呼び込むことで、地域住民や来街者でにぎわうまちを創出し、商業で生まれる活力が将来に持続する商業を中心としたまちをめざす				蒲田GD (骨子)	
	9	羽田空港との近接性や交通結節性を活かし、業務機能、産業支援機能やビジネス交流機能などの誘導を図るとともに、羽田空港や羽田イノベーションシティとの連携を強化することにより、産業やビジネスが育ち新たな価値を創造し、国内外へ発信するまちをめざす				蒲田GD (骨子)	
	10	商業・業務機能と良質な都市型住宅が調和したまちの形成をめざし、建物の共同化や既存ストックの有効活用を促進して土地の高度利用を図り、商業・業務・宿泊機能など多様な機能がバランス良く導入されたまちをめざす	○			蒲田GD (骨子)	

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマB 地域力	11	☑屋敷駅、蓮沼駅、矢口渡駅などの鉄道駅周辺は、それぞれの駅や周辺の特性を踏まえ、商店街の活性化を促進するなど、地域に密着した生活拠点の形成を図る	○				
	12	☑・東急蒲田駅周辺は駅前広場の整備などにより、公共交通の利便性を向上し交通結節機能を強化する		○			
	13	☑・東急蒲田駅では、東西自由通路、駅前広場、駅舎や駅ビルなどの基盤施設を一体的に捉えた整備を進め、ゆとりある空間を有し、公共交通の利用がしやすい利便性の高い駅と基盤施設の機能更新をめざし、駅周辺エリアの回遊性とにぎわいの向上を図る		○		蒲田GD (骨子)	
	14	☑街地の機能更新などに合わせて、地域住民の生活を支える機能の充実・強化を図り、誰もが必要なサービスを受けられ、それぞれのライフスタイルを快適に実現できるまちをめざす		○		蒲田GD (骨子)	
	15	☑駅前広場や道路等を活用したイベントなどにより、にぎわいや交流の機会を創出する		○			
	16	京急蒲田駅西口周辺では、市街地再開発事業や地区計画を活用した共同建替え事業により、広場や道路などの基盤整備と、商業機能や都市型居住機能の集積が図られ、また、隣接する呑川沿い等既存の緑をいかした水と緑のネットワーク化などにより潤いある街並みを形成するとともに、建築物の建替えが進み回遊性と防災性が高まった市街地の形成をめざす				区域マス 案	
	17	☑射19号線などの都市計画道路の整備を推進し、道路ネットワークの強化を図る	○				
	18	☑駅前広場や関連側道の整備による道路網の形成などにより交通渋滞を解消し、地域の一体性の確保を図る	○				
	19	☑蒲田駅周辺では、円滑な交通流動を確保するために民間施設と連携した積極的な誘導による駐車場の整備を推進し、自転車駐車場や自転車走行環境の整備と、次世代型の新たなモビリティなどの多様な移動手段の有効活用などにより、人々が快適に移動できるまちをめざす	○		○	蒲田GD (骨子)	
	20	☑宅と工場が混在する市街地において、街区ごとに住宅や工場のまとまりが見られる地区は、個々の街区に必要な機能や環境を維持・保全することにより両街区の共存を図り、また、☑区の中で住宅と工場が密集して混在している地区は、共同建替えなどを誘導し、街区内での適切な再配置を促進する	○				
	21	商店街や呑川沿いなどの道路では、回遊性に配慮した歩行者空間を整備していくとともに、歩行者に配慮した車両の誘導を図るなどにより、思わず歩きたくなり楽しめる歩行者優先のまちをめざす				蒲田GD (骨子)	

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
	22	聖蹟蒲田梅屋敷公園や旧東海道沿いなどに残る歴史的資源は、地域の風格や味わいを出すための重要な要素として街並みづくりに活用する	○				
テーマC 安心安全	23	環状8号線、第一京浜国道、第二京浜国道等の沿道の不燃化耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保する	○				
	24	環京都の防災都市づくり推進計画で重点整備地域に指定された大森中地区は、都市基盤整備とあわせた防災活動拠点の整備や避難路の確保などを推進し、環造住宅の密集した市街地は、住環境と防災面に配慮した建物の建替えや共同化、不燃化・耐震化を進め、安全な市街地の形成をめざす	○			区域マス案	
	25	環防災対策の必要性・緊急性が高い西蒲田地区は、不燃化・耐震化の促進などにより防災性の向上を図る	○				
	26	環害に強いまちをめざして、呑川周辺の浸水対策、雨水貯留施設や浸透施設の整備などの総合的な治水対策	○				
	27	を推進する					
	28	大規模災害が発生した際に、機能継続や早期復旧が可能となるまちを目指して、建築物の耐震化や無電柱化などによる減災対策を進めるとともに、避難対応と帰宅困難者対応を円滑に進めるための体制構築により安全安心なまちをめざす					蒲田GD (骨子)
	29	行政・地域住民・商店会・警察などが連携した防犯活動の実施や、自転車盗難防止に向けた啓発活動などを継続することで、誰もが安心できるまちをめざす					蒲田GD (骨子)
テーマD 環境	30	環開発や大規模建築物の建設において、環境負荷の低減などへの配慮や、環境性能に優れた建築物への誘導を図る	○				
	31	呑川は、緑道の整備促進により親水空間を創出し、潤いのある水と緑のネットワークの形成を図る	○		○		
	32	環蒲田公園や東蒲田公園等の緑空間の保全を積極的に推進する	○				
	33	土地の高度利用とあわせて、オープンスペースの確保や緑地の創出を図る	○				
	34	環集市街地や住宅と工場が混在した市街地は、建物の共同化などを誘導することによって、緑の創出を図る	○				
	35	呑川の親水性を向上させるため東京都や流域自治体と連携して、呑川の水質浄化対策に取り組む	○	○			
	36	環陰形成等によるクールスポットづくりを進め、まちなかに留まり過ごすための環境を整備する					蒲田GD (骨子)

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマA 国際化	1	<input checked="" type="checkbox"/> 丸子駅周辺では、新空港線や踏切除却などの鉄道事業の進捗に併せ、駅周辺の都市基盤施設整備や地域特性を踏まえた産業ビジネス機能などの集約化を図り、拠点性の向上を目指し取り組みを進める		○			
	2	<input checked="" type="checkbox"/> 域内に集積する、大田のものづくり産業の代表となるような工場を観光拠点として活用を図る	○				
	3	<input checked="" type="checkbox"/> ノベーションやオープンファクトリーなどを契機とした、産業の活性化と交流を促進する		○			
	4	<input checked="" type="checkbox"/> しいものと馴染みのものが融合した、来街者も楽しめる雑色駅前通り商店街の形成を図る		○			
テーマB 地域力	5	<input checked="" type="checkbox"/> 丸子駅、武蔵新田駅などの駅周辺は、良好な暮らしの場として商店街の活性化を促進し、地区に密着した生活拠点の形成を図る	○				
	6	<input checked="" type="checkbox"/> 色駅周辺では、駅前広場や道路整備による交通利便性の向上を図り、再開発事業など多様なまちづくり手法を検討しながら、土地の有効利用などとともに防災対策やユニバーサルデザインの都市づくりを進め、魅力ある生活拠点の形成をめざす	○	○		区域マス 案	
	7	<input checked="" type="checkbox"/> 丸子駅は、駅利用者の増加や新空港線の車両導入に対応した新空港線整備などの基幹事業の進捗を踏まえ駅機能の強化を図る		○			
	8	<input checked="" type="checkbox"/> 色駅周辺については、放射第19号線（第一京浜国道）の拡幅及び補助第42号線の整備による安全で快適な歩行者空間の確保や、都市基盤施設と一体的な共同化事業検討を進める		○	○		
	9	<input checked="" type="checkbox"/> の東西方向の交通軸となる新空港線の整備により、アクセスが向上した東急多摩川線沿線地域と羽田空港や空港周辺の地域の連携強化を目指し、下丸子駅周辺の都市基盤施設の整備や土地の有効利用を促進し拠点機能の構築を図る	○			区域マス 案	
	10	<input checked="" type="checkbox"/> 助41号線と補助43号線の整備や、そのほかの補助幹線道路や駅前広場等について整備を促進し、道路ネットワークの形成を図る	○				
	11	<input checked="" type="checkbox"/> 丸子駅はバス網の再編に対応した駅前広場の整備などにより、公共交通の利便性向上と交通結節機能を強化し、誰もが安全で快適に往来する、にぎわいとゆとりのある都市空間の形成を図る		○			
	12	<input checked="" type="checkbox"/> 丸子駅周辺地区では、東急多摩川線の立体化（高架化又は地下化）や環状第8号線（環八通り）・補助28号線の立体交差化、補助第28号線の拡幅整備などによる、交通渋滞の解消及び駅へのアクセス利便性の強化に取り組む		○			
	13	<input checked="" type="checkbox"/> トルネックとなっている下丸子駅周辺の踏切（下丸子1号、下丸子2号）の除却を進める		○			

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
	14	工業系土地利用の地域に立地する工場が存続し発展していくために、地域の環境対策や効率的な物流方を検討するなど、周辺環境に配慮しながら地域住民と共存できるまちづくりを推進する	○	○			
	15	大規模な工場の街区と大規模なマンションの街区が隣接する地区は、道路整備により産業交通と生活交通の円滑な交通機能を確保する。また、中小規模の工場と住宅が混在する街区は、共同建替えの誘導や、街区内で工場と住宅を用途ごとにゾーニングするなど、住環境と工場の操業環境の共存を図る	○	○			
	16	多摩川沿いの市街地は、河川景観と調和した潤いのある街並みづくりを進める	○				
テーマC 安心安全	17	環状8号線、第一京浜国道、第二京浜国道等の沿道の不燃化耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保する	○				
	18	多摩川沿いは、地震や洪水に対する安全性の向上を図るために、周辺市街地の整備とあわせた総合的な治水対策を推進する	○				
	19	災害に強いまちをめざして、多摩川周辺市街地の雨水貯留施設や浸透施設整備などの総合的な治水対策を推進する	○				
テーマD 環境	20	防犯の並木の植栽など、河川空間や旧六郷用水散策路などの崖線沿いにある豊かな緑を活かした水と緑のネットワークづくりを推進し、潤いと憩いの場の形成を図る	○	○			
	21	住宅や工場などの建物更新にあわせて、再生可能エネルギーの活用や緑化の推進により、環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図る	○				
	22	保存する自然の河川形態を維持し、多摩川に生息する貴重な小動物や自然植生の保護育成に努める	○				
	23	多摩川河川環境管理計画に基づき、多摩川の自然を損なわないように配慮しながら、区民にふれあいの場を提供する貴重なオープンスペースとして河川敷を活用する	○				
	24	多摩川のシンボルとなっている多摩川の河川敷や拠点公園などの公共空間を活用し、人々が交流し健康スポーツを楽しめる機会を創出するとともに、河川敷のレクリエーション施設と一体となった水と緑のネットワークを形成する	○	○			

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマA 国際化	1	国際空港の玄関口である羽田空港跡地周辺は、蒲田・大森地域と連携した中心拠点として、大規模工場跡地の一部と一体的に捉え、周辺地域と調和した魅力ある多様な土地利用を誘導し、空港隣接性を活かした機能の導入を図る	○				
	2	田地区では、羽田空港に隣接する立地条件を活かし、ものづくり産業や人材育成、中小企業活性化などに寄与する機能を強化し、まとまって工場が立地する区域では、工業を振興するための施策を展開し、工場の操業環境の維持・向上を図る	○	○			
	3	田地区では、外客を受入れるための機能や取組（祭り舟運商店街宿泊など）を強化する		○			
	4	田地区の商業地については、安心して買物ができるような地区に密着した生活拠点の形成を図り、羽田空港からまちに訪れる来訪者が、歴史、伝統、文化を学びながら快適に楽しむことができるよう、ルート案内やサイン整備などを進め、地域の回遊性の向上を図る	○		○		
	5	田空港周辺地域における慢性的な交通渋滞が発生している環状8号線の大鳥居交差点や首都高速道路羽田ランプ付近等の主要交差点は、立体交差化や交差点改良を働きかけ、幹線道路の交通流動の円滑化を図る	○				
	6	ノレールの一般都市交通路線として利便性の向上を図るために、都市計画道路の整備や駅周辺の土地利用の展開とあわせて、内陸側市街地と駅を連絡するアクセス道路の整備を促進する	○				
	7	羽田グローバルウィングス（田空港跡地）第1ゾーン整備事業と連携を図りながら、空港や港湾と近接する地域特性を活かして、区内企業の海外進出や海外企業との交流を支援する	○				
	8	域内に集積する高度な技術を有する工場は、産業観光の拠点として施設整備を図るための支援を進める	○				
	9	糞谷駅周辺は、整備された駅前広場、再開発ビルの商業機能、子育て支援機能、高齢者支援機能等の生活支援機能や交流機能を活用し、にぎわいのある便利で安全安心なまちを目指す	○	○			
	10	鳥居駅、穴守稲荷駅周辺は、快適に買物ができるよう地区に密着した生活拠点の形成を図る	○				
	11	規模工場跡地は、羽田空港と内陸部を結ぶ拠点にふさわしい景観づくりを推進する	○				
	12	田地区は、市街地環境の改善にあわせた地域の魅力づくりのひとつとして、漁師町の名残を活かした街並みづくりを検討する	○		○		
	13	補助38号線は、東糞谷防災公園と連携した防災性の向上及び良好な歩行者空間を確保するため、早期整備を促進し道路ネットワークの形成を図る	○				

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
テーマB 地域力	14	糀谷駅周辺は、京浜急行線の連続立体交差事業や踏切解消で確保された生活道路の連続性によりにぎわいの創出、地域の回遊性の向上を図る	○	○			
	15	糀谷駅周辺は、駅前広場の整備により強化された交通結節機能を活用し、利便性の高い活気があふれるまちを目指す	○	○			
	16	✕鳥居駅周辺では、補助第38号線や大鳥居交差点の立体交差化などによる、交通渋滞の解消や駅へのアクセス利便性を強化する		○			
	17	✕田地区における鉄道駅の機能強化や駅周辺の動線改善などにより、駅利用者の増加に対応した都市づくりを推進する		○			
	18	✕宅と工場が混在する市街地は、住環境の保全と工場の操業環境が共存・調和する都市づくりを推進し、住工調和型再開発としてのモデル開発地区の指定等をめざして調整を進める	○				
	19	✕摩川沿いの市街地は、河川景観と調和した潤いのある街並みづくりを進める	○				
	20	✕港と近接する特性を活かしながら、産業のグローバル化に対応した付加価値の高い都市型産業が発展するとともに、木造住宅密集地域の改善が進み、住工が調和した活力ある拠点の形成をめざす					区域マス案
テーマC 安心安全	21	✕田地区では、地域特性に配慮した防災性の高い市街地環境形成に向けて、建替えにあわせた建物の不燃化耐震化、敷地の共同化によるオープンスペースの確保、緑化の推進、緊急車両が通行可能な道路の確保や重点整備路線の拡幅整備、防災活動のための小公園の整備などを、地域住民とともに検討する		○	○		
	22	羽田地区のバス通り沿道地区は、倒壊のおそれのある電線類を地中化して通行の安全を確保するとともに、✕沿道の不燃化を促進し、災害時の安全な避難路としての機能を確保する		○			
	23	✕環状8号線、産業道路等の幹線道路沿道の不燃化耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保する	○				
	24	重点整備地域に指定された糀谷地区は、都市基盤整備とあわせた防災活動拠点の整備や避難路の確保などを推進し、木造密集地域では、耐震耐火住宅への更新による不燃化の促進によって防災性の向上を図り、安全な市街地形成をめざす	○	○			区域マス案

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくり ビジョン	部門別の 地域要素	その他	課題
	25	東糞谷防災公園は、地域防災活動の拠点として防災機能の維持・強化を図るとともに、平時における交流拠点としての積極的な活用に努める					新規
	26	☒摩川沿いは、地震や洪水に対する安全性の向上を図るために、長期的な視点から周辺市街地の整備にあわせた総合的な治水対策を推進する	○				
	27	☒害に強いまちをめざして、多摩川周辺市街地の雨水貯留施設や浸透施設の整備などの総合的な治水対策を推進する	○				
テーマD 環境	28	☒宅や工場などの建物更新にあわせて、再生可能エネルギーの活用や緑化の推進により、環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図る	○				
	29	☒市開発や大規模建築物の建設において、環境負荷の低減などへの配慮や、環境性能に優れた建築物への誘導を図る	○				
	30	☒域の特徴である水際線を開放し、多くの人々が水のある環境に親しめる空間を提供するとともに、多摩川の河川敷、大規模な公園緑地を結ぶ散策路を整備し、河川空間を活かした潤いと憩いの場づくりを推進する	○				
	31	☒川緑道の整備を引続き促進し、旧呑川緑地や北前堀、南前堀緑地などを結んだ海辺の散策路を整備し、潤いのある水と緑のネットワーク形成と緑地の整備を図る	○				
	32	萩中公園や東糞谷防災公園や大森南一丁目公園などの貴重な地域内の緑環境の保全を積極的に推進する	○				
	33	☒規模工場跡地などでは、土地利用の転換にあわせてオープンスペースを確保し、新たな緑地の創出を図る	○				
	34	☒集市街地や住工混在市街地は、一定規模以上の敷地を有する建物の建替えや共同化にあわせて緑化やポケットパークを整備し、貴重な緑の創出を図る	○				
	35	☒自動車、航空機等からの騒音や排気ガスなどによる環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図る	○				

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくりピ ジョン	部門別の地 域要素	その他	課題
テーマA 国際化	1	国際空港の玄関口にふさわしい魅力と活力ある都市環境の形成を図り、蒲田、大森地域と連携した中心拠点づくりをめざす	○				
	2	羽田グローバルウイングズ（羽田空港跡地）では、ヒト、モノ、情報の交流を活発化させ、集積する先端企業と区内ものづくり企業をつなぎ、新たなビジネスやイノベーションを創出する拠点形成を図るとともに、日本文化や区の魅力を発信し、多様な人々の出会い・交流を生み出し、地域の憩い・賑わいの創出する拠点形成を図る	○		○		
	3	羽田空港とその周辺地域は、関係機関との連携のもと、海空からの景観を踏まえつつ、環境やユニバーサルデザインにも配慮した、日本の玄関口である「HANEDA」にふさわしいエリアを形成する	○		○		
	4	空港や港湾との近接性を活かして、産業や公園緑地など多様な土地利用を計画的に形成し、羽田グローバルウイングズ（羽田空港跡地）第1ゾーン等と機能連携なども踏まえ、新たな都市の活力を創出する土地利用の展開を図る	○				
	5	中央防波堤埋立地は、空港機能と連携した一体的な土地利用を展開するために、港湾計画との整合性を図りつつ、関係機関と協議を行う	○				
	6	都心における希少な公園・緑地・水辺、道路空間等のオープンスペースや既存施設などを活かし、区民や働く人には憩いの場として、来街者には多様なアクティビティを体験できる賑わい空間を創出し、身近で魅力的な臨海部の都市づくりを進める			○	臨海GV	
	7	国内外からの来訪者に向けて日本や大田区の魅力を伝える日本文化のショールームを形成し、多くの来訪者の区内回遊に結び付けていくことで区内への波及効果を生み出す。			○		
	8	水辺と緑を活かした広場整備による憩いの空間を創出するとともに、イベント等の多目的な利用によるにぎわいやアメニティ機能の向上を図り、臨海部の特色や魅力を活かしたにぎわいある文化施設の誘致を検討する			○	○	
	9	『新スポーツ健康ゾーン』におけるスポーツ関連施設や宿泊施設等の再整備及び管理運営を検討する			○		
	10	羽田空港に集中する人・モノの輸送力強化と京浜3港の連携促進を図るために、国道357号多摩川トンネル以南の整備による、首都圏や川崎横浜方面との連携や第二湾岸道路、外環道の整備による隣接都市との交流拡大など広域道路ネットワークの強化を図る	○	○			
	11	北海道貨物支線の貨客併用化などの構想を推進し、京浜臨海部等へのアクセス改善を図る	○				
	12	羽田空港跡地周辺を活用した拠点整備を進め、観光拠点と羽田空港などを結ぶ水上交通誘致の検討により、臨海部の交通ネットワークの形成を図る	○				
	13	羽田連絡道路の開通による、羽田グローバルウイングズ（羽田空港跡地）とキングスカイフロント（川崎市殿町地区）との拠点間の相互連携を強化する		○			

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくりピ ジョン	部門別の地 域要素	その他	課題
	14	羽田空港への近接性を活かした創造的産業の育成を図り、内陸部や都心、海外との連携など、継続性の高いものづくり研究開発の場をめざす	○	○		臨海GV	
	15	空港臨海部の地域特性である「空」と「海」を活かした観光拠点として、舟運等による新たな観光ルートの形成を図る	○			臨海GV	
	16	区域内に集積する高度な技術を有する工場を産業観光の拠点として施設整備を図るため支援を進める	○			臨海GV	
テーマB 地域力	17	行政、住民、企業、団体の連携等により、水辺空間を活かした賑わいの創出や魅力あるまちづくりに寄与し、地域のニーズに対応した多様な利用が可能となる河川緑地空間の形成を図る。			○		
	18	民連携等による公園内のにぎわいの多様化を図る		○			
	19	森ふるさとの浜辺公園周辺等におけるスポーツ施設等や、平和の森公園、大田スタジアム、東京港野鳥公園など特色のある公共空間を整備し、区民のアクティビティを高める交流空間を創出する		○			
	20	空港臨海部に隣接する内陸市街地における交通不便地域の解消とアクセス向上を図るため、道路ネットワークの再構築や道路空間の再配分を進めるとともに、内陸部と臨海部を繋ぐ新たな公共交通の導入を推進する	○	○		臨海GV	
	21	運ルートを中心とした船着場整備を促進する		○			
	22	流通センター駅周辺などの臨海部の拠点となる場所に交通結節機能の強化を図る		○		骨子	
	23	内陸部と臨海部を東西に結ぶ主要幹線道路などにおける道路空間の再配分		○			
	24	空港臨海部地域と中心拠点駅及び観光資源のアクセス性や回遊環境の向上に資する、既存の公共交通及びその活用システムの導入と新たな交通の連携推進を図る			○		
	25	最新技術（自動運転等）を活用した公共交通などのサービスレベルの向上を図る				臨海GV	
テーマC 安心安全	26	羽田グローバルウィングス（羽田空港跡地）において、憩いと賑わいづくりの中核的な役割を担い、災害時には避難場所としての機能も果たす公園整備を進める	○	○	○		
	27	害に強いまちをめざして、国や東京都と連携し、河川堤防や防潮施設の整備、護岸の耐震化など、多様な治水対策を推進する	○				
	28	エネルギー自給率の向上と大規模災害時のBCP強化を兼ねる柔軟性・冗長性を備えた都市づくりを進める				臨海GV	
	29	田空港跡地に、市街地に隣接した親水緑地空間を創出して、環境との共生を考慮しながら潤いと安らぎのスペースを整備する	○				
	30	臨海部埋立島部を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、都と連携を図り誰もが手軽に利用できるレクリエーションの場として再整備を進める。また、公園緑地などの拠点を結ぶ海辺の散策路を活用した策路をユニバーサルデザインの視点で整備する	○				

	NO.	地域別方針記載項目（要素）	現行都市 マス	都市づくりピ ジョン	部門別の地 域要素	その他	課題
テーマD 環境	31	☒ 空港臨海部は、敷地内の緑化や地域に点在する緑地公園を活かし、工場や倉庫等の施設が立ち並ぶ街並みの中にも潤いのある空間づくりを進める	○				
	32	☒ 運の利用促進等により、水に親しめる空間や拠点を整備する		○			
	33	☒ 自動車、船舶、航空機等からの排気ガスなどによる環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図る	○				
	34	エネルギーのスマート化による低炭素・脱炭素の都市づくりを推進する				臨海GV	